

「1950年代教育史」研究部会（第41回）

日時：2019年11月29日（金）13:00～15:20

場所：野間教育研究所 2F 閲覧室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員
金沢千秋・川上智子

欠席：吉久知延所長

内容：（1）米田俊彦研究員：紀要原稿「勤評『神奈川方式』の成立と神奈川県教育委員会」の検討

- ◆「第1節 自民党と内山県知事の勤評『神奈川方式』に対する姿勢」の「1. 神奈川県の自民党」冒頭の前稿追加
 - ・当時の神奈川県内の自民党の派閥の影響について記述追加
- ◆第1節の「3. 第一次勤評『神奈川方式』」の内容
 - ・県教育委員会の臨時会で成立した通称第一次勤評「神奈川方式」の12項目と要項のうち12項目全文
 - ・鈴木重信教育長の『かながわ教育』（119号）での福田恒存との対談内容
 - ・県議会での質疑等の経過

（2）須田将司研究員報告：紀要原稿「1950年代における教師の教育研究基盤の形成と展開」の検討

- ◆「第2節 師範学校・国立大学教育研究所の設立と展開」の「1. 師範学校・新制大学における教育研究所設立の全体像」
 - ・教育刷新委員会での議論（1946年11月-12月）
地方教育研究所から師範学校（国立大学）教育研究所へ
 - ・大阪学芸大学教育研究所の設立経緯について
 - ・静岡大学教育研究所について
教育研究所規程の制定
研究所の予算・経費に関する条項が削除されて決定
1958年3月「文部省の教育研究所解散通達」とは？
その後の静岡大学「総合研究所」

- ・次回研究会は、2020年1月24日（金）13:00～ 大島研究員、鳥居研究員
- ・次回以降、2020年2月21日（金）、2020年3月30日（月）、いずれも13:00～